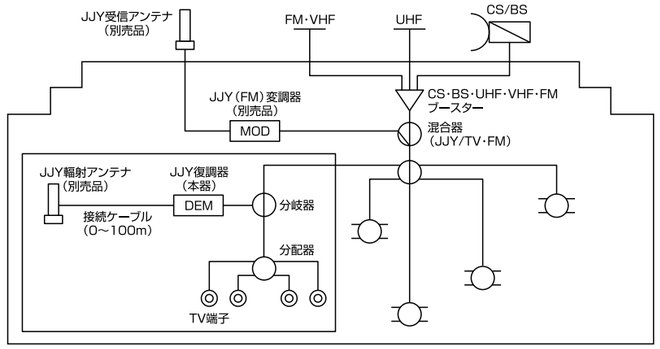
接続のしかた

- ●本器の入力周波数は、必ずJJY変調器のRF出力と同じ周波数でご使用ください。
- ●本器は「JJY輻射アンテナ（STR1F）」（別売品）とセットでご使用ください。
- ●JJY輻射アンテナへの接続は4C以上の同軸ケーブルをご使用ください。
- ●ケーブルを短絡して接続しますと故障の原因となりますのでご注意ください。

システム導入例



調整方法

1. 電源を投入しますと、**パイロットランプ**は赤く点灯します。搬送波信号（75MHzなど）が受信できていれば緑の点灯となります。適正入力レベルは40～80dBμなので、その範囲内にあることをレベル計などで確認してください。
2. パイロットランプが橙色に少しでも点灯する状態は機器に悪影響があります。JJY信号が過大出力になっていないか、またはケーブル接続が短絡している状態になっていないかご確認ください。
3. 輻射アンテナから出る電波はその設置場所により、輻射電界強度は大きく変化します。輻射レベルを測定し、電波法の微弱電波の規定内になるよう、出力レベルを**出力レベル調整ボリューム**で調整してください。
   - ●微弱電波の規定は40KHzの場合3mの距離で105.9dBμV／m以下
     60KHzの場合3mの距離で102.4dBμV／m以下となります。
4. 受信アンテナと輻射アンテナが十分離れていないと再輻射電波の波形が変化したり、システムが発振をする場合がありますので注意が必要です。
5. STD1Fの消費電力は負荷により変わります。
6. このシステムにおいては、他のRF信号との間隔は0.5MHzあけるようにしてください。

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D862000800　平成20年5月

保　証　書

型名	STD1F	製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所 電話番号　（　　）		
お買上げ日 年　月　日		取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間（お買上げ日より） 本体1年（但し消耗品は除く）			

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は別紙の店所一覧をご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   ①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
   ②修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
   ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
   ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
   ④海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
   ⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
   ⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
   ⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
   ⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
   ⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
   ⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
   ⑪本書のご提示がない場合。
   ⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   （This Warranty is valid only in Japan）
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

日本アンテナ

取扱説明書・施工説明書
—保証書付—

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

屋内用 電波時計受信システム 復調器

Model STD1F

目　次

説明の始まるページ

表紙

〔取扱説明書〕

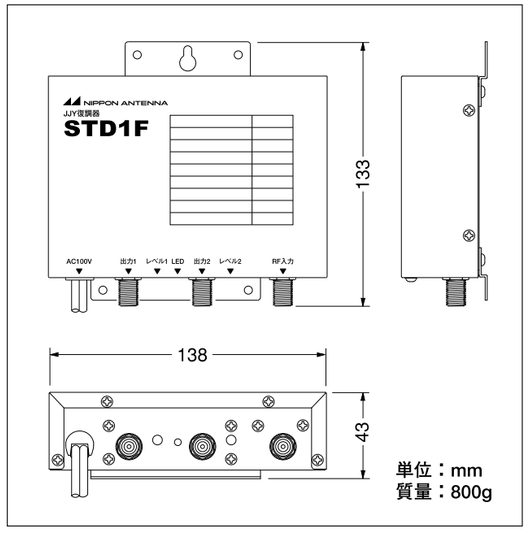
外観および寸法図……1
取扱上のご注意……1
メンテナンス……1
特長……1
安全上のご注意……2
標準性能表……2
各部の名称……3

〔施工説明書〕

設置場所・条件……3
取付方法……3
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法…3
接続のしかた……4
システム導入例……4
調整方法……4
保証書……4

取扱説明書

外観および寸法図



取扱上のご注意

電気工事には専門の資格が必要です。
取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

特　長

1. FM変調された標準電波の信号を40KHzまたは60KHzに復調する機器です。
2. 輻射アンテナ（STR1F）への出力端子を2系統装備しています。
3. 輻射アンテナ（STR1F）へは同軸ケーブルを使用し、最大100mまでケーブルを延長して使用できます。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」、「取扱説明書」、「施工説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⃠	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠警告

- ●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。
- ●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ●万一、本器を落としたり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

- ●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店工事業者に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
- ●本器の上面カバー（接続端子部・操作部カバーは除く）をはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店工事業者にご依頼ください。

分解禁止

- ●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店工事業者に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- ●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）

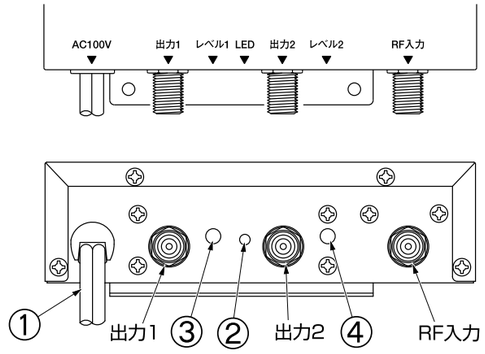
⚠注意

- ●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。
- ●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
- ●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード（アンテナ線、機器間の接続コードなど）、はずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

標準性能表

項　　目	仕　　様	備　　考
受信周波数　（MHz）	75	標準周波数
入力信号形式　（kHz）	FM変調　偏移±50	
入力レベル　（dBμV）	40～80	
入力インピーダンス　（Ω）	75	F型
出力数	2回路	
出力信号　（kHz）	40または60	
出力レベル　（Vp-p）	2	開放値　最大
出力レベル調整　（dB）	0～−25	連続可変
出力インピーダンス　（Ω）	5	F型
負荷インピーダンス　（Ω）	5以上	
電源電圧　（V）	AC100	
消費電力　（W）	6	
耐雷性	入力端子、電源端子とも15kV（1.2×50μS）のサージに耐える	
使用温度範囲　（℃）	−10～40℃	本体周囲温度

各部の名称



① 電源コード	表示された電源電圧（AC100V）以外の電源で使用しないでください。
② パイロットランプ RF受信ランプ	電源コードをコンセントにつなぐと赤色に点灯します。 搬送波信号（RF信号）が受信できれば緑色に点灯します。 また、少しでも橙色に点灯している場合は、出力過負荷や短絡状態で機器に悪影響があります。
③ 出力1レベル 調整ボリューム	出力1レベルを調整します。
④ 出力2レベル 調整ボリューム	出力2レベルを調整します。

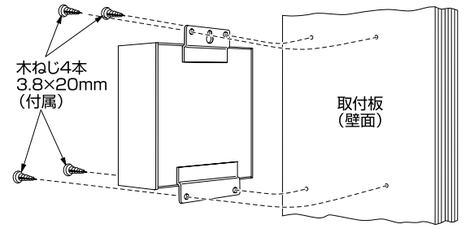
施工説明書

設置場所・条件

- ●高温（40℃以上）の場所、有害ガスなどの発生する場所はさけてください。
- ●復調器は発熱しますので、熱のこもる場所はさけてください。
- ●電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- ●メンテナンスに容易な場所を選定してください。

取付方法

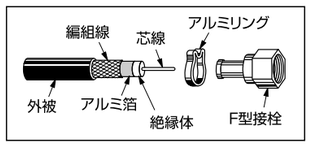
①付属の木ねじ2本で本体上部を固定してください。
②上部を止めた後、本体下部を付属の木ねじ2本でしっかりと固定してください。



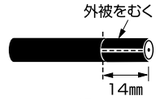
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

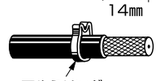
■各部の名称



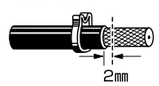
❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。
（深さ1㎜程度）



❷ 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

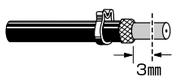


❸ 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

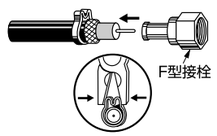


❹ 編組線をめくりあげます。

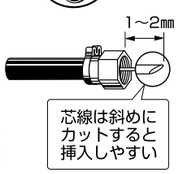
❺ 編組線から3㎜はなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。



❻ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。
芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



ポイント

- ●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかをご確認ください。
- ●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- ●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

●F型接栓締付トルク　2.0N・m（約20kgf・cm）

⚠注意　加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。